

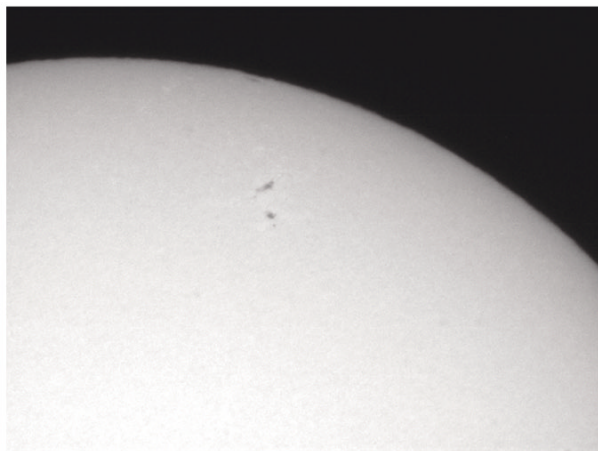
ST-i・惑星&オートガイダー PDF版・実地テストリポート



M45 : ED65Q鏡筒 (423mm F6.5) + ST-8300C
+ ST-i・モノクロ (オフアキ併用) 露出 : 600秒



M27 (トリミング)



ST-iにて「太陽」を撮影しました。

使用鏡筒は「ED65Q」でアストロソーラー太陽フィルターを使用、口径を約1/3に絞り、更にバローで2.6倍に焦点距離を延長。更に更に「H α -35nm」のミッドバンドフィルターを使用して、ようやく適正露出が得られた程に、ST-iは感度が良好な様です。



ST-8300C & ST-i の実際の接続の様子。

今回のオフアキ装置は「CCDエディション・ルミコンイメージガイダー」を利用。

この日の他の撮影対象 (M42や二重星団など) でも、撮影の構図を決定後に「一切」ST-i側のポジションを変える事なく、デフォルト位置でガイド星を検出し、オートガイドが出来ました。

これは「ST-i」がオートガイダーとして、高感度である事は言うまでもなく、加えてローノイズである事を意味しています。

左記の通りに、上記のM45はこれ程までの「微光星」でガイドを行なえたのも、この高性能を裏付けるものです。なお、これらの一切の制御は「一台のパソコン」でCCDOPSを使用して「2台のCCDカメラ」を同時に制御しました。

ガイド星検出 :
露光1秒です！

○
ガイド星として選択

この様に、あらゆる対象の周りの「ガイド星」が少なくとも複数点以上は検出可能です。